

ノ日ヨリ三月ヲ經タル後ハ何レノ一方ヨリ  
モ三月ノ豫告ヲ以テ之ヲ廢棄シ得ル旨ヲ約  
定セムトスルモノナリ

要スルニ本案ハ此ノ兩國間ニ於テ無條約ノ  
闕陷ヲ補填スル爲通商ニ關スル待遇ヲ暫定  
的ニ取極メムトスルモノニシテ兩國間ノ通  
商ハ現在ニ於テハ尚甚々微々タルモノニ過  
キサルモ斯クノ如キ取極ヲ爲スハ趣旨ニ於  
テ何等ノ不可ナク又其ノ内容ニ於テモ別ニ  
支障ノ廉ナキニ由リ本件ハ此ノ儘之ヲ可決

セラレ然ルヘシト思料ス

右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

議長(倉富)

別ニ御發言モ無キ故第二讀會以下

ヲ省略シテ直ニ採決ニ付スヘシ本案賛成ノ  
各位ノ起立ヲ請フ

(全會一致可決)

○

議長(倉富)

次ニ

朝鮮總督府官制中改正ノ件外九件

ヨ一括シテ議題ニ供ス第一讀會ヲ開キ朗讀  
ヲ省略シテ直ニ審査報告ヲ爲サシム  
報告員(三上) 謹テ此ノ十件ヲ審査スルニ各件  
ノ要旨次ノ如シ

第一 朝鮮總督府官制中改正ノ件

各般ノ事務増加ノ爲本案ヲ以テ事務官  
人視學官二人技師一人屬二人及技手四人  
ヲ増員セムトス

第二 臺灣總督府官制中改正ノ件

事務ノ増加ニ應スル爲技師一人屬十人及

技手十人ヲ増員セムトス

第三 臺灣總督府地方官官制中改正ノ件

臺灣ノ地方ニ於テ警察事務ノ増進ニ應ス  
ル爲警部十一人及警部補一人ヲ増員セム  
トス

第四 關東廳官制中改正ノ件

(一) 從來關東州ヲ旅順大連ノ二區ニ分チ各  
區ニ民政署ヲ置キ更ニ大連民政署管内  
ノ金州普蘭店及貔子窩ニ民政支署ヲ置  
キテ民政署ノ事務ヲ分掌セシメタルモ

近時諸般ノ行政事務繁劇ヲ加ヘ現在  
制度ニテハ支障尠カラサルニ由リ本  
ヲ以テ之ヲ改メ關東州ヲ五區ニ分チ  
前ノ三民政支署ヲ昇格シテ何レモ民政  
署ト爲サムトス

(二) 民政署長事故アル場合ニ付從來ノ規定  
ノ外關東長官ニ於テ特ニ代理者ヲ置キ  
代理セシムルコトモ出來得ル旨ノ條項  
ヲ追加セムトス

(三) 前記昇格ノ民政署ノ署長ニ充ツル爲事  
務官二人其ノ他ノ事務ノ爲技師一人警  
視一人警部二人技手三人翻譯生一人警  
部補四人翻譯官一人及森林主事三人ヲ  
増員セムトス

(四) 其ノ他前述民政支署ノ廢止ニ伴ヒ民政  
支署ナル文字ヲ削除スル等若干ノ條項  
ニ整理ヲ加ヘムトス

### 第五 樺太廳官制中改正ノ件

近時樺太廳管内ニ於ケル人口著シク増加  
シ益諸般ノ社會的教化施設ノ普及發達ヲ

必要トスルニ伴ヒ之カ指導監督ノ任ニ當  
ラシムル爲奏任ノ社會教育官專任一人ヲ  
新設シ之ヲシテ社會教育ニ關スル指導監  
督及事務ヲ掌ラシムルコトトシ其ノ他諸  
般事務ノ増加ノ爲技師二人屬五人警部  
人、技手四人及警部補五人ヲ増員セムトス  
第六 南洋廳官制中改正ノ件  
氣象海洋地震等ノ觀測調査ノ爲技手二人  
ヲ増員セムトス

第七 奏任文官特別任用令中改正ノ件

本院ニ御諮詢アラセラル別案ヲ以テ  
關東廳海務局官制中ニ改正ヲ加ヘ同局ニ  
奏任ノ理事官ヲ置カムトスルニ付茲ニ本  
案ヲ以テ奏任文官特別任用令列記ノ官名  
中ニ前記關東廳海務局理事官ヲ追加シ該  
官ハ同令所定ノ官歴アル者ヨリ高等試験  
委員ノ銓衡ヲ經テ之ヲ任用スルコトヲ得  
ルモノト爲サムトス

第八 朝鮮總督府道視學官特別任用令

今回別案ヲ以テ朝鮮總督府地方官官制中



ニ改正ヲ加ヘ朝鮮ノ各道ニ奏任官タル視  
學官ヲ置キ道ノ學事視察其ノ他ノ教育事  
務ヲ掌ラシムトスルニ伴ヒ茲ニ本案ヲ  
以テ此ノ官ノ爲特別任用ノ規程ヲ設ケ  
トスルモノニシテ其ノ要旨次ノ如シ

(一)朝鮮總督府道視學官ハ(イ)二年以上奏任  
官又ハ奏任官待遇以上ノ學校長教官教  
員又ハ教育事務ニ從事スル職員ノ職ニ  
在リタル者(ロ)五年以上判任官又ハ判任  
官待遇ノ學校長教官教員又ハ教育事務

ニ從事スル職ニ在リテ月額八十五圓以  
上ノ俸給ヲ受ケタル者ノ中ヨリ高等試  
驗委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スル  
コトヲ得ルモノトス

(二)前述朝鮮總督府道視學官ノ特別任用ノ  
要件タル各職ノ在職年數ハ之ヲ通算ス  
ルモノトス但シ所要在職年數ヲ異ニス  
ルモノニ在リテハ比率ニ依リ之ヲ通算  
ス

第九 公立學校ノ校長又ハ教員ヲ朝鮮總督

府道視學官ニ任用スル場合等ノ官等  
ニ關スル件

前述ノ特別任用令ニ依リ公立學校ノ奏任  
官待遇ノ校長又ハ教員ノ職ニ在リタル者  
ヲ朝鮮總督府道視學官ニ任用スル場合ニ  
於テハ高等官官等俸給令所定ノ官等ノ制  
限ニ依リ難キ事情アルニ由リ前ニ本院ノ  
詢議ヲ經テ制定セラレタル公私立學校ノ  
校長又ハ教員ヲ北海道廳視學官又ハ地方  
視學官ニ任用スル場合ノ官等ニ關スル件

ナル先例ヲ參酌シ本案ヲ以テ之ニ關シテ  
モ同様ノ特例ヲ設ケムトス即チ(一)公立學  
校ノ奏任官待遇ノ校長又ハ教員ノ職ニ在  
リタル者ヲ朝鮮總督府道視學官ニ任用ス  
ル場合ニ於ケル初叙官等ハ高等官官等俸  
給令第四條ノ規定ニ拘ラス其ノ在職年數  
五年ニ及フ者ハ高等官五等以下トシ其ノ  
年數三年ヲ加フル者ハ更ニ一等ヲ進メテ  
四等ト爲スコトヲ得ルモノトシ(二)前ニ高  
等官ノ職ニ在リタル者ニ付テハ退官又ハ

退職後前掲ノ校長又ハ教員ノ職ニ在リ  
ル年數三年ニ付其ノ退官又ハ退職ノ時  
於ケル官等ニ一等ヲ進ムルコトヲ得ルモ  
ノトシ但シ高等官官等俸給令第四條第一  
項及第三項ノ規定ニ依リ再任ノ際叙シ得  
ル官等ニ關スル規定ヲ適用スルコト却テ  
有利ナルトキハ之ヲ適用スルコトヲ妨ケ  
サルモノトシ又右條項ニ依リ再任ノ場合  
ニ叙シ得ル官等ハ退官又ハ退職ノ時ニ於  
ケル官等ト看做シテ此等ノ規定ヲ適用シ

又明治三十六年勅令第二百八十五號ニ依  
リ所謂特別文官ノ職ニ在リタル者ノ轉任  
又ハ再任ノ場合ニ於テ叙シ得ル官等モ亦  
之ヲ退官ノ時ニ於ケル官等ト看做シ(三)本  
案ノ規定ニ依ル朝鮮總督府道視學官及前  
述ノ昭和三年勅令第二十七號ニ依リ特例  
ノ適用ヲ受クル北海道廳視學官若ハ地方  
視學官ハ明治三十六年勅令第二百八十五  
號ニ所謂特別文官ト認ムルコトヲ得ルモ  
此等ノ者相互ニ轉任又ハ再任スルトキハ

之ニ右勅令ノ規定ヲ適用セサルコトトス  
第十 樺太廳社會教育官特別任用令

前述ノ樺太廳官制中改正ニ依リ今般新ニ  
設ケラルル樺太廳社會教育官ニ付テモ文  
部省ノ社會教育官ノ例ニ倣ヒ本案ヲ以テ  
社會教育ノ指導監督ニ關スル事務ニ必要  
ナル學識技能及經驗ヲ有スル者ノ中ヨリ  
高等試驗委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用  
スルコトヲ得ル旨ノ規程ヲ設ケムトスル  
ナリ

要スルニ本案第一乃至第六ノ各件ハ朝鮮總  
督府臺灣總督府關東廳樺太廳及南洋廳ノ部  
内ニ於テ各種ノ事務ノ増進ニ應シ施政ノ改  
善ニ資スル爲職員ヲ新ニ設ケ又ハ増員セム  
コトヲ主眼トスルモ、其ノ他ノ四件ハ朝鮮  
總督府關東廳及樺太廳ノ部内ニ新ニ設クル  
特殊ノ文官ノ爲ニ必要ナル特別任用ノ規定  
ヲ設ケ又ハ之ヲ任用スル場合等ノ官等ニ關  
シ若干ノ特例ヲ設ケムトスルモノニシテ孰  
レモ別ニ支障ノ廉ナキニ由リ各件共此ノ儘



御可決相成リ然ルヘキカト思料ス

右謹テ審査ノ結果ヲ申上ク

二十三番(石黒)

現内閣ニ於テハ病氣又ハ事故

ノ爲職員中闕員ヲ生スルコトアルモ之カ補

充ヲ爲ササル方針ナリト聞ク然ルニ本案ニ

依レハ朝鮮臺灣其ノ他ニ通計八十一名ノ職

員ヲ増置セムトス之レ閣議決定ノ方針ニ矛

盾スルモニアラスヤ次ニ臺灣總督府地方

官官制中改正案中阿片取締ノ爲警部若干名

ヲ増員セムトスルモノアリ臺灣ニ於ケル阿

片癮者ノ數八年々減少セルニ拘ラス今之カ

取締ニ従事スル職員ヲ増加セムトスルハ如

何ナル理由ナリヤ

十二番(松田)

御話ノ通り職員ノ闕員ハ原則ト

シテ之ヲ補充セサル方針ナリ然レトモ本案

ニ依ル職員ノ増置ハ例ハ朝鮮ノ視學事務

改善ノ爲朝鮮總督府ニ於テ二名道ニ於テ十

三名又米穀倉庫ノ指導監督ノ爲二名警察共

濟組合事務ノ爲一名ノ職員ヲ増置セムトス

ルカ如ク何レモ緊急已ムヲ得サルモノノミ

ニシテ曩ニ帝國議會ニ於テモ本件ノ豫算案ニ對シ必要已ムヲ得サルモノトシテ可決セラレタル次第ナリ次ニ臺灣ノ阿片癮者ハ同島領有以來其ノ數漸減シ吸食特許者ハ約一萬五千人ナリシカ昨年精査ノ結果更ニ約一萬五千人ノ密吸食者アルコトヲ發見シタルヲ以テ之ニ對シ最善ノ措置ヲ講スルト共ニ將來ニ於ケル阿片取締ノ完璧ヲ期スル爲特ニ專務ノ警察官若干名ヲ增置セムトスル次第ナリ

二十三番(石黒) 官吏ノ闕員ハ補充セサル方針ナルモ本案ハ緊急已ムヲ得サルモノトシテ増員スル意ナリヤ

十二番(松田) 然リ尤モ議會ノ豫算議定ハ右閣議ノ決定以前ナリシナリ

二十三番(石黒) 本案ノ増員ハ帝國議會ニ於テ緊急已ムヲ得サルモノト可決シタルカ故ニ之ヲ實行スルモノナリヤ然ラハ今後病氣又ハ事故ヲ以テ辭職スル者アレハ之ヲ補充スル考ナリヤ

十二番(松田)

緊急已ムヲ得サルモノナルカ

増員スルモ補充ハ成ルヘク差控ヘタシ

考フ

二十三番(石黒)

今迄ハ阿片ノ取締行届カサリ

シモ之ヨリ真ニ之ヲ勵行スルノ意思ナリヤ

十二番(松田)

從來ノ取締ニハ多少遺憾ノ點ア

ルニ由リ今般制度ノ上ニモ改善ヲ加ヘ阿片

ノ密輸入及密吸食ヲ完全ニ禁遏セムコトヲ

期スル次第ナリ

二十三番(石黒)

然ラハ阿片ノ吸食ノミナラス

輸入取締上ニモ遺憾ノ點アリシヤ

十二番(松田)

密輸入取締ノ點ニモ多少遺憾ノ

點アリシト考フ

三十八番(岡田)

刻下ノ如キ財政困難ノ際ハ行

政整理ヲ行フカ通例ナルヘシ然レトモ行政

整理ハ更ニ多數ノ失業者ヲ出スコトトナル

ヲ以テ現政府ハ敢テ之ヲ行ハス只職員中ニ

生シタル闕員ヲ補充セサル方針ナリト承知

セリ之レ實ニ仁政トモ謂フヘク本官ノ敬服

スル處ナルモ今本案ヲ以テ官制ヲ改正シ朝

鮮、臺灣其ノ他ノ職員ヲ増加セムトスルハ其  
シキ矛盾ナリト考フ本官ハ此等ノ増員ヲ以  
テ必要缺クヘカラサルモノトハ思惟セズ殊  
ニ大臣ノ説明ニ依レハ定員ノ増加後ノ缺員  
ハ之ヲ補充セスト謂フ果シテ然ラハ定員  
増加スルハ甚タ不合理ナリ技師、技手、屬ノ何  
レニ於テモ二三人位ノ融通ハ決シテ不可能  
ノ筈ナシ然モ職員ノ定員ヲ増サムトスルハ  
如何ナル理由ナリヤ

十二番(松田) 只今ノ御質問ノ増員ノ要否ハ要

スルニ程度ノ問題ナリ例ヘハ朝鮮總督府警  
務局警保課ハ大正十五年事務分掌規定改正  
ノ結果舊保安課ノ事務ヲ繼承シ又同年中兵  
事事務ヲ更ニ昭和四年ニハ警察共濟組合事  
務ヲ管掌スルニ到リ從來ノ職員ヲ以テ此等  
ヲ處理スルハ至難ナルカ爲事務官一名ヲ増  
員セムトシ又水産ニ關シテハ鰯、鯖、等  
ノ漁獲ノ急劇ナル増加及養殖ノ獎勵ニ伴フ  
海苔、牡蠣ノ生産増加ニ應シ水産物處理製造  
ノ指導獎勵ノ必要切實ナルモノアルニ由リ



特ニ専門ノ技師及技手各一名ヲ増置セムト  
スルモノニシテ何レモ未開地ノ發達上不可  
避ノ必要ニ應スル職員ノ増置ニシテ到底内  
地ト同一律ニ論スヘカラサルモノアルカ  
ナリ

三十八番(岡田)

同種類ノ職員多數アル中ニ數

人ノ繰合付カストハ考ヘラレス既ニ官制ニ  
定員ノ定メアルモノスラ之ヲ補充セサルニ  
未タ官制モ出來サルモノハ此ノ際之ヲ差控  
フルカ相當ナリト考フ刻下ノ經濟難ハ上下

一致格別ノ協力ニ依ルニアラサレハ之カ打  
開ハ到底困難ナルカ故ニ斯ル案ハ將來再ヒ  
樞密院ニ出テ來ラサルコトヲ希望ス

二十五番(黒田)

拓務大臣ニ御伺ヒ致シタシ朝

鮮ニ視學官ヲ増置シ教育ノ刷新ヲ圖ルハ結  
構ノコトナルモ鮮人ノ如キ新附ノ民ニ對シ  
テハ深ク其ノ意ヲ人心ノ諧調同化ニ致ササ  
レハ學校教育カ却テ恐ルヘキ結果ヲ齎ラス  
コトアリ現ニ昨年ハ朝鮮各地ノ多數ノ學校  
ニ於テ學生生徒ノ同盟騒動アリ而モ警察ノ

力ニ依リテ僅ニ之ヲ鎮靜スルコトヲ得タ  
モノアリト聞ケリ朝鮮ノ教育當局者ハ果  
テ如何ナル方針ヲ以テ之ニ對シツツアリ  
十二番(松田)朝鮮ノ教育ニ付テハ本官ニ於  
モ特ニ配慮セル所ナルカ其ノ根本精神ハ明  
治大帝及大正天皇ノ勅旨ニ依リ一視同仁以  
テ之ニ當リ鮮民ヲシテ各其ノ業ニ安シ其ノ  
生ヲ樂ムコトヲ得シメムトスルニアリ内地  
人ニ對シテハ小學校鮮人ニ對シテハ普通學  
校ヲ設ケ均シク日本文化ノ恩惠ニ浴セシメ

ムコトヲ期セリ

二十五番(黒田)

拓務大臣ノ御説明ヲ聽キ其ノ

意ヲ諒トス唯本官ハ此ノ事タル我國運ノ伸  
暢ニ極メテ重大ナル關係アルコトヲ顧ミ鮮  
人教育ノ根本方針ニ伴フ諸般ノ施設經營ノ  
不徹底ニ關シテ憂慮スルコト切ナリ願クハ  
此ノ事ヲ内閣總理大臣ニ傳達セラレムコト  
ヲ又朝鮮人ノ教育ハ須ク一視同仁ノ聖旨ヲ  
體シテ愆ルコトナク鮮人ヲシテ衷心ヨリ日  
本民族ト融合同化スルニ到ラシムルコトニ

努力セラレムコトヲ此ノ際特ニ當局ニ對シ  
テ切望ス

議長(倉富) 別ニ御發言モナキ故ニ第二讀會以  
下ヲ省略シテ直ニ採決ニ付スヘシ本案賛成  
ノ各位ノ起立ヲ請フ

(全會一致可決)

議長(倉富) 本日ハ之ニテ閉會ス  
聖上入御

(午前十一時十分閉會)

議長男爵倉富勇三郎

書記官長二上兵衛

書記官

村上恭一

武友盛雄

## 甲號譯文

(來翰案)

以書翰啓上致候陳者本大臣ハ「ルーマニア」王國政府ガ「ルーマニア」國及日本國間ノ相互通商關係ヲ規律スル目的ヲ以テ次ノ協定ニ同意スル旨閣下ニ通告スルノ光榮ヲ有シ候

一 「ルーマニア」國政府及日本國政府ハ通商、關稅及航海竝ニ入國及滞在ノ自由、生業、職業、商業及産業ニ從事スルコトニ關スル事項ニ付相互ニ最惠國待遇ヲ又直接又ハ間接ノ課金、手数料及租稅ニ關スル事項ニ付相互ニ内國待遇又ハ最惠國待遇ヲ許與スベキコトヲ約ス

二 本取極ハ本通告ノ日ノ後八日ニシテ效力ヲ發生スベシ本取極實施後三月ノ期間滿了後ニ於テハ兩國政府ハ三月ノ豫告ヲ以テ本取極ノ廢棄ヲ聲明スルコトヲ得

本大臣ハ茲ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具



## 乙號譯文

(往翰案)

以書翰啓上致候陳者本使ハ日本帝國政府ガ日本國及「ルーマニア」國間ノ相互通商關係ヲ規律スル目的ヲ以テ次ノ協定ニ同意スル旨閣下ニ通告スルノ光榮ヲ有シ候

一 日本國政府及「ルーマニア」國政府ハ通商、關稅及航海竝ニ入國及滞在ノ自由、生業、職業、商業及産業ニ從事スルコトニ關スル事項ニ付相互ニ最惠國待遇ヲ又直接又ハ間接ノ課金、手数料及租稅ニ關スル事項ニ付相互ニ内國待遇又ハ最惠國待遇ヲ許與スベキコトヲ約ス

二 本取極ハ本通告ノ日ノ後八日ニシテ效力ヲ發生スベシ本取極實施後三月ノ期間滿了後ニ於テハ兩國政府ハ三月ノ豫告ヲ以テ本取極ノ廢棄ヲ聲明スルコトヲ得

本使ハ茲ニ重テ閣下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

甲  
號

Monsieur le Ministre,

J'ai l'honneur de communiquer à Votre Excellence que, dans le but de régler les rapports commerciaux réciproques entre la Roumanie et le Japon, le Gouvernement Royal de Roumanie approuve l'accord suivant:

1/ Les Gouvernements de la Roumanie et du Japon s'engagent à s'accorder mutuellement le traitement de la nation la plus favorisée en ce qui concerne le commerce, les droits de douane et la navigation, ainsi que la liberté d'entrer et de séjourner, l'exercice des métiers, professions, commerces et industries et le traitement national ou le traitement de la nation la plus favorisée en ce qui concerne les charges, taxes et impôts directs ou indirects.

2/ Cet accord entrera en vigueur huit jours après la date de la présente communication. Après la durée de trois mois à partir de son entrée en vigueur, chacun des deux Gouvernements aura la faculté de le dénoncer moyennant un avis préalable de trois mois.

Je saisis cette occasion pour renouveler à Votre Excellence l'assurance de ma haute considération.

勅令第 號

朝鮮總督府官制中左ノ通改正ス

第十一條中「事務官 專任三十三人ヲ事

務官 專任三十四人ニ視學官 專任三

人ヲ視學官 專任五人ニ技師 專任三

十九人ヲ技師 專任四十人ニ屬 專

任二百二十九人ヲ屬 專任二百三十一

人ニ「技手」專任百十八人ヲ「技手」專任  
百二十二人ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

臺灣總督府官制中左ノ通改正ス

第十九條第一項中「技師」專任四十人ヲ  
「技師」專任四十一人ニ「屬」專任二百一  
人ヲ「屬」專任二百十一人ニ「技手」專任  
百十二人ヲ「技手」專任百二十二人ニ改  
ム



附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

臺灣總督府地方官官制中左ノ通改正ス  
第二條第一項中警部 專任二百三十四  
人ヲ「警部 專任二百四十五人ニ「警部補  
專任二百八十人ヲ「警部補 專任二百  
八十一人ニ改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

關東廳官制中左ノ通改正ス

第十三條中「二區ヲ五區ニ改ム

第十四條ヲ削リ第十四條ノ二ヲ第十四

條トス

第十五條第一項中「事務官 專任十五人

ヲ事務官 專任十七人ニ「技師 專任九

人「ヲ」技師 專任十人「ニ」警視 專任十一  
人「ヲ」警視 專任十二人「ニ」翻譯官 專任  
一人「ヲ」翻譯官 專任二人「ニ」警部 專任  
六十三人「ヲ」警部 專任六十五人「ニ」技手  
專任六十五人「ヲ」技手 專任六十八人  
ニ、翻譯生 專任二十六人「ヲ」翻譯生 專  
任二十七人「ニ」森林主事 專任五人「ヲ」森  
林主事 專任八人「ニ」警部補 專任百二  
十人「ヲ」警部補 專任百二十四人「ニ」改  
第十七條第二項中「民政支署長」ヲ削ル  
第十九條中又ハ「民政支署長」ヲ削ル  
第二十五條第一項ニ左ノ但書ヲ加フ  
但シ關東長官特ニ代理者ヲ置キタル  
場合ハ此ノ限ニ在ラズ

第二十八條中「民政支署長タル者ヲ除ク  
ノ外ヲ削ル

第三十七條及第三十八條ヲ削リ第三十  
八條ノ二乃至第三十八條ノ四ヲ各第三  
十七條第三十八條及第三十八條ノ二ト  
ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



勅令第 號

樺太廳官制中左ノ通改正ス

第二條中視學官 專任一人 奏任ノ次

ニ社會教育官 專任一人 奏任ヲ加ヘ

技師 專任四人ヲ技師 專任六人ニ屬

專任百二十五人ヲ屬 專任百三十人

ニ警部 專任十四人ヲ警部 專任十五

人ニ「技手」專任四十人「技手」專任四  
十四人「警部補」專任十九人「警部補」  
專任二十四人ニ改ム

第十五條ノ三 社會教育官ハ上官ノ命ヲ  
承ケ社會教育ニ關スル指導監督及事  
務ヲ掌ル

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

南洋廳官制中左ノ通改正ス  
第二條中「技手」專任十二人「ヲ」技手 專  
任十四人「ニ」改ム

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

奏任文官特別任用令中左ノ通改正ス

關東廳專賣局理事官ノ次ニ關東廳海務  
局理事官ヲ加フ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

朝鮮總督府道視學官特別任用令

第一條 朝鮮總督府道視學官ハ左ノ資

格ノ一ヲ有スル者ノ中ヨリ高等試験

委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スル

コトヲ得

一 二年以上奏任官又ハ奏任官待遇



以上ノ學校長、教官、教員又ハ教育事務ニ従事スル職員ノ職ニ在リタル者

二 五年以上判任官又ハ判任官待遇ノ學校長、教官、教員又ハ教育事務ニ従事スル職員ノ職ニ在リテ月額八十五圓以上ノ俸給ヲ受ケタル者

視二

第二條 前條ニ規定シタル各職ノ在職年數ハ之ヲ通算ス但シ所要ノ在職年數ヲ異ニスル各職ノ在職年數ヲ通算スル場合ニ於テハ甲職ノ在職年數ノ其ノ職ノ所要ノ在職年數ニ對スル比率ヲ乙職ノ所要ノ在職年數ニ乘ジテ得タル年數ヲ甲職ノ在職年數トシ之ヲ乙

職ノ在職年數ニ通算ス

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

第一條 公立學校ノ奏任官待遇ノ校長

又ハ教員ノ職ニ在リタル者ヲ朝鮮總

督府道視學官ニ任用スル場合ニ於テ

ハ昭和三年勅令第二十七號第一條第

一項及第二條ノ規定ヲ準用ス

第二條 本令ニ依ル朝鮮總督府道視學

官又ハ昭和三年勅令第二十七號ニ依  
ル北海道廳視學官若ハ地方視學官ガ  
朝鮮總督府道視學官北海道廳視學官  
又ハ地方視學官ニ轉任又ハ再任スル  
場合ニ於テハ明治三十六年勅令第二  
百八十五號ノ規定ヲ適用セズ

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

勅令第 號

樺太廳社會教育官特別任用令

樺太廳社會教育官ハ社會教育ノ指導監督ニ關スル事務ニ必要ナル學識技能及經驗ヲ有スル者ノ中ヨリ高等試驗委員ノ銓衡ヲ經テ特ニ之ヲ任用スルコトヲ得

附則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス